

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－
	○	商店街（代表者）	・飲食・観光関連の客は増加しているが、通常の物販やその他の雑貨類は大変厳しい状況にある。また、現在、新型コロナウイルス感染症の影響も出てきているものの全体的には少し良くなるとみている。
	○	百貨店（経営担当）	・10月は国慶節によりアジア圏の観光客が増加するとみている。
	○	コンビニ（経営者）	・近隣のスーパーが移転したため、野菜等の品ぞろえを増やしたことから、売上が伸びることを期待している。
	○	コンビニ（副店長）	・来月は最低賃金の引上げがあり、賃金増加分以上の売上の確保を経営者側は求められる。実質賃金が物価上昇率を超え積極的な消費につながらなければ利益確保は難しく、経営者側が更に身を削ることになるため、新政権には抜本的改革を期待する。
	○	その他専門店〔陶器〕（製造）	・秋冬は陶器がよく動くとみている。
	○	一般レストラン（代表者）	・少しずつ涼しくなってきたため、来客数の増加を期待している。
	□	コンビニ（経営企画担当）	・新型コロナウイルス感染症発生前と比べ、悪天候時の影響が強くなるようになった。まだ台風の影響が懸念されることから、天候次第という状況である。特に、10～11月までは慎重に判断しなければならないとみている。
	□	衣料品専門店（経営者）	・例年だと新しい季節の商品が売れ始めるが、季節がずれてきたのか、商品の売行きがまだ良くない。来月からの動きをみていきたい。景気が良くなっている気配はまだ見受けられない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・景気の良くなる理由が見当たらない。
	□	その他飲食店〔バー〕（経営者）	・良くなる要素として猛暑が落ち着くことが挙げられるが、ほかに景気が改善する要素が見当たらない。
	□	旅行代理店（マネージャー）	・単価は上昇しているが手数料商売のため、利益率は減少している。取扱数量でカバーできないと厳しくなるとみている。
	□	通信会社（営業担当）	・10月から食品などの値上げにより、出費を控えるとみている。景気が良くなる要因は見当たらず、現状が続くとみている。
	□	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注状況は前年割れの状態だが、昨今は直前の予約が続いており、着地は前年並みを見込んでいる。
	□	住宅販売会社（役員）	・近年の県内地価上昇率は全国1位となっているが、地価の高騰に加え事業資金の調達金利も上昇傾向であることから、住宅建設は伸び悩むことがみている。
	□	住宅販売会社（取締役）	・次期首相によっては、金融関係を始め、様々なところに影響が与える可能性があり、それに連動してこの業界も影響するとみている。
	▲	スーパー（企画担当）	・8月は入域観光客数が100万人を超えたものの、10月には今年最多の品目数と予想される食品値上げが控えていることや電気料金の補助も10月分までとなっていることから、2～3か月先の景気はやや悪くなると考えられる。
	▲	家電量販店（営業担当）	・生活家電は横ばい、デジタル家電は下向くとみている。
	▲	乗用車販売店（経理担当）	・受注量が減少している。
	▲	観光型ホテル（企画担当）	・9月の販売室数が前年比28%増加なのに対し、9月末時点での12月の予約室数は前年比19%増加となっており、プラス幅が縮小している。
×	－	－	
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－
	○	食料品製造業（役員）	・今後も前年比で消費が拡大する傾向は続いていくとみている。
	○	窯業土石業（取締役）	・見積依頼が緩やかに増加しており、3か月後は売上増加が見込める。

	<input type="checkbox"/>	広告代理店（営業担当）	・県内企業の販売促進活動は、個人消費などの足元の景気とは異なり減速傾向にある。
	<input type="checkbox"/>	会計事務所（所長）	・物価高騰、為替の円安傾向などの状況が当面続くとみている。
	▲	—	—
	×	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	・2026年卒向けの説明会や早期選考が始まることもあり、新年度を待たずに求人票が来るとみている。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（総務担当）	・これから更に物価が上昇し、買い控えが起きるとなかなか景気は良くなるとみている。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・新規求人数が減少し、新規求職者数は増加している。物価高の影響で、現在の賃金や年金で生活できないという声もあり、景気回復の要因となるような声が聞こえてこない。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職支援担当）	・定額減税により一時的な経済活性化も期待されていたが身の回りでは変化がないとみている。
	▲	求人情報誌製作会社（営業）	・例年は夏に比べ、秋の求人数が増加し、年末にかけて緩やかに減少していた。しかし、秋の増加がみられないことから、例年より求人数は減少するとみている。
	×	—	—